

一般社団法人 日本生態学会

2024 年度第 4 回通常理事会

1. 日時：2025 年 2 月 8 日（土）13:00～17:00
2. 場所：キャンパスプラザ京都 第 2 会議室およびオンライン（Zoom）
3. 出席者：
 - ・理事会構成員（19 名・定足数 10 名以上）
（理事）北島薫、日浦勉、立田晴記、赤坂宗光、辻かおる、久米篤、
木村恵、村岡裕由、石濱史子、小林真、東樹宏和、竹垣毅
工藤岳、土居秀幸、西廣淳、中野伸一、吉田丈人
 - ・監事：大塚俊之、黒川紘子
 - ・オブザーバー：富松裕、永光輝義、大澤剛士、関島恒夫、大久保奈弥、
中村誠宏、内海俊介、半場祐子、山尾僚
 - ・事務局：鈴木晶子

4. 議事概要：

定足数 10 名を超える 17 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款第 42 条に従い北島薫会長を議長として議事を進行した。議事録署名者は、定款第 46 条に則り、北島薫会長、大塚俊之監事、黒川紘子監事、議事録作成者は立田晴記専務理事が担当することとした。

報告事項

1. 事務局報告（庶務・会計）
 - ・資料 1 に基づいて立田専務理事より庶務 2 件、会計 8 件の報告があった。
2024 年に賛助会員数が減少しているが Ecological Research の冊子体発行が廃止されたためとの説明があった。
2. Ecological Research 編集委員会報告
 - ・資料 2 に基づいて富松編集長より編集状況について投稿規定の WEB 更新手続きをしていること、編集作業のガイドラインを作成したこと、Data article の出版を再開したとの報告があった。
 - ・各賞受賞者の総説論文執筆について周知のため募集要項への記載や、督促の期限を決めるのはどうかとの意見があった。
3. 保全生態学研究編集委員会報告
 - ・資料 3 に基づいて大澤編集幹事より出版状況、出版社変更の進捗状況、投稿規定の改正を調整していることが報告された。

4. 出版状況報告

- ・資料 4 に基づいて久米出版担当理事より英文誌出版について、Wiley 社より 2026-28 年出版費用の提案があり PSB 科研費計画を効果的に推進できる見込みであること、種生物学会で説明集会を開催したこと、編集システム移行準備を進めていること、Data Article 出版が再開されたことが報告された。

5. 大会準備状況報告 (ESJ72・ESJ73)

- ・資料 5 に基づいて北島会長より ESJ72 企画委員会の準備は順調に進んでいるとの報告があり、内海実行副委員長より ESJ72 非常時の行動計画が報告された。
- ・土居理事より ESJ73 について大会会場を正式に予約したことが報告された。

6. 各種委員会報告

<情報交流支援専門委員会>

- ・資料 6 に基づいて村岡理事より Jeconet 管理状況方向があった。

<大規模長期生態学専門委員会>

- ・資料 6 に基づいて中村委員長より JaLTER データベースを DIAS へ移行し運用開始したこと、DIAS との連携の目的、取り組みの報告制、今後の計画が報告された。

<自然保護専門委員会>

- ・資料 6 に基づいて関島委員長より 1 月に専門委員会を実施し 2024 年・2025 年活動費について、委員体制について要望書等承認手続きについて、2024 年活動報告を行ったとの報告があった。

<キャリア支援専門委員会>

- ・資料 6 に基づいて東樹理事より ESJ72 札幌大会で CPD 単位発行を行うこと、会員対象に「誰もが参加しやすいフィールド調査」に関するライフハックを募集すること、大会参加者属性アンケート解析が進んでいることが報告された。

7. 監査報告

- ・資料 7 に基づいて黒川監事より 2024 年度の事業報告、計算書類および付属明細書、そのほか理事の職務執行についての監査を行い適正に行われたことが報告された。

8. EAFES 東京準備状況報告

- ・2025 年 7 月開催の EAFES 東京について吉田理事より大会ウェブサイトが立

ち上がり、準備が進められていることが報告された。

9. 生態学会の国際化へ向けた具体的な活動方針について

- ・小林理事より国際化に係る拡大将来計画委員会で大会英語口頭発表賞を継続する方針であること、ER シンポを有効活用すること、生態学会の世界的なプレゼンス向上について話し合われたとの報告があった。
- ・2025 年に学会ウェブサイト改訂を進めるとの報告があった。

審議事項

第 1 号議案 2024 年度決算案について

- ・資料 8 に基づいて辻会計担当理事より 2024 年決算報告があり、予算としてこれまでの余剰金を大会や英文誌 OA 支援に支出し単年度収支で 1800 万円ほどの赤字を見込んでいたが、OA 支援の科研費が採択されたこともあり 430 万円ほどの赤字に抑えられたとの説明があった。
- ・2024 年一般会計・特別会計・貸借対照表の決算について全会一致で承認された。

第 2 号議案 2025 年度予算案について

- ・資料 9 に基づいて辻会計担当理事より 2025 年予算について、過去の理事会で承認されている繰越金を減らしていく方針にあわせて約 1200 万円の赤字見込みとしているとの説明があった。
- ・2025 年予算について全会一致で承認された。

第 3 号議案 役員選任について

- ・資料 10 に基づいて北島会長より 2025 年 3 月の任期満了に伴う新理事・監事候補の提案があり全会一致で承認された。

第 4 号議案 大会開催について

- ・資料 11 に基づいて北島会長より 2028 年 3 月の大会開催地区について、順番として中国四国地区になるとの説明があり、中国四国地区に依頼することが全会一致で承認された。

第 5 号議案 代議員の欠員補充について

- ・資料 12 に基づいて北島会長より、中国四国地区選出代議員鈴木紀之氏が属地区変更になるため、2025 年 4 月より次点の三村真紀子氏を代議員にする提案があり、全会一致で承認された。

第6号議案 委員の承認

- ・資料3に基づいて大澤編集幹事より編集体制変更の提案があり、2025年4月より新体制になることが全会一致で承認された。
- ・資料6に基づいて村岡理事より2025年4月からの委員会体制の提案があり全会一致で承認された。

第7号議案 ER論文賞について

- ・資料2に基づいて富松編集長より説明がありER編集部より推薦のあった6名の受賞が全会一致で承認された。

第8号議案 自然保護専門委員要望書について

- ・資料13に基づいて関島自然保護専門委員長より提案があり、(仮称) 苫東厚真風力発電事業計画の評価再調査・事業変更を求める要望書を学会名で提出することが全会一致で承認された。
- ・学会名での要望書提出は総会決議が必要なため2025年3月の総会に諮るとの説明があった。

第9号議案 総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定について

- ・資料14に基づいて北島会長より提案があり、総会日時および場所並びに議事に付すべき事項について全会一致で承認された。

その他

- ・寄附金について呼び掛けてはどうかとの意見があり、今後どのように呼び掛けていくか検討することになった。

閉会：以上の議事を終え、17時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、会長、監事がこれに記名押印する。

2025年2月8日

会 長 : 北 島 薫 ⑩

監 事 : 大 塚 俊 之 ⑩

黒川 紘子 ④